

株式会社みずほフィナンシャルグループ



<https://www.mizuho-fg.co.jp/csr/environment/biodiversity/index.html>

《将来に向けた取組方針》

〈みずほ〉は、自らの事業活動が環境に対して直接・間接的に影響を及ぼす可能性があり、気候変動の緩和・適応、生物多様性への保全、循環型社会の形成といった環境への取り組みが企業としての存立と活動に必須の要件であると認識しています。〈みずほ〉は経済活動の根幹を担う金融機関の社会的な責任として、生物多様性に与える負の影響の軽減と、生物多様性の保全に取り組んでいきます。

〈みずほ〉は、環境や生物多様性へのポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの低減に両面から取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

ポジティブインパクトの拡大

Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス

〈みずほ〉は、SDGs達成に向けた取り組みについて、環境・社会・経済へのポジティブ・インパクトを示していくことが重要であると考えており、金融機関として本商品を通じ、ポジティブ・インパクト創出・評価に向けた取り組みを支援していきます。

サステナビリティ・リンク・ボンド/ローン

〈みずほ〉は2021年にタイ企業が調達する「サステナビリティ・リンク・ニンジャローン (SLL)」および「サステナビリティ・リンク・シンジケートローン」の共同アレンジャーに就任しました。温室効果ガス削減に加え、水産資源の保護に着目したSLLを組成し、水産資源の調達に関わるトレーサビリティ管理の強化をKPIに包含しています。

ネガティブインパクトの低減

責任ある投融資

〈みずほ〉は、投融資等を通じた環境・社会に対する負の影響を低減・回避するため、「環境・社会に配慮した投融資の取組方針」を制定しています。2022年3月に気候変動への対応や生物多様性保全への対応強化等の観点から、ステークホルダーからの期待・目線も踏まえ、本方針を改定しました。

「いきもの共生事業所認定制度」の認証取得

大手町本部のある「大手町タワー」は、敷地の約3分の1に相当する約3,600㎡が「大手町の森」となっています。“本物の森”というコンセプトのもと、関東各地の山林から自然の樹木を集め、多様性に富む森が再現されたものです。生物多様性に配慮した緑地づくりに取り組むオフィスビルとして、ABINC（一般社団法人いきもの共生事業推進協議会）が運営する「いきもの共生事業所認定制度」の認証を取得しました。